

教員名	篁 倫子 (TAKAMURA, Tomoko)
所 属	生活科学部人間生活学科発達臨床心理学講座
学 位	1980年8月 MA文学修士 (米国インディアナ州立ボール大学大学院) 1994年3月 医学博士 (東京女子医科大学)
職 名	教授
URL / E-mail	takamura@cc.ocha.ac.jp

◆研究キーワード

発達障害 / LD / ターミナル期の心理教育的支援 / 極低出生体重児

◆主要業績

総数 (7) 件

- ・ 篁倫子(2006)
第2章LD、これならできるLD・ADHD・高機能自閉症への対応、教職研修7月号、14-18
- ・ 篁倫子(2006)
学習障害児への教育的支援、教育と医学 54 (9) : 80-86、慶応義塾大学出版会
- ・ 篁倫子(2006)
提言「教室に始まり、教室に実るアセスメント」、LD&ADHD、No.17 : 6 - 7、明治図書
- ・ 篁倫子(2006)
軽度発達障害の子どもへの心理・教育的支援、少年のみちびき、18 (1) : 5-8
- ・ 篁倫子(2007)
第3章発達障害の理解と対応、伊藤亜矢子 (編著)、学校臨床心理学、北樹出版、pp38-47

◆研究内容

- 1) LD、ADHD、高機能自閉症等の発達障害の子どものアセスメント、特別支援教育、心理的支援、教員支援等について、研究を進めている。
- 2) 小児がんの子どもやターミナル期にある子どもに対する教育・心理的支援の在り方をトータルケアの観点から研究を行っている。
- 3) 発達障害を視野に入れた極低出生体重児の出生から中学生まで前方視的追跡研究ではその発達経過、主に認知機能の発達と問題の発生過程と親支援について検討している。

◆教育内容

- <学部>
- 1) 基礎ゼミ：人間理解、心理学関係の様々な教材（専門書、一般書等）を用いて、履修生の関心のあるテーマを基に、心理学と科学的にものを考える仕方を学ぶ。
 - 2) 発達臨床診断法：乳幼児期の発達と心理学的アセスメント・発達評価の方法を学ぶ。
 - 3) 障害臨床学：障害総論と発達障害の各論を学び、心理・教育的支援を概観する。
 - 4) 人間関係研究演習：障害や病気と共に生きることを人間の発達の観点ならびにトータルケアの視点から考える。
 - 5) 児童学概論（オムニバス）：エリクソンの心理社会的発達論の紹介
 - 6) 心理臨床実習：成長モデルの臨床心理学的アプローチを体験的に学ぶ。
 - 7) ゼミ
- <大学院>
- 1) 障害特論：LD、ADHD、高機能自閉症等の臨床について、内外の実証的研究を基に学び、各自のテーマで文献究を進める
 - 2) 臨床心理査定演習（理論）：WISCⅢ、ビネーV、K-ABCなどの知能・認知検査の理解・実施・解釈・報告書作成を習得する。
 - 3) 臨床心理実習：心理面接の実施の指導とケースカンファレンス指導
 - 4) ゼミ

◆Research Pursuits

Main research themes were as follows:

- 1) Development of assessments measure of LD
- 2) Long-term follow-up study of children who were born at very low birth weight in the light of developmental disorders and school adjustment
- 3) Total care for children with cancer in collaboration of medicine, psychology, education, and welfare

◆Educational Pursuits

Six undergraduate courses and 4 graduate courses in this academic year :

Diagnostic Measurements of Development, Seminar on Human Relations, Thesis, Developmental Disorders in Childhood, Exercise in Clinical Psychology, Basic Seminar Thesis
Advanced Theory of Developmental Disorders, Psychological Assessment (Practicum)
Practicum Clinical Psychology, Graduate thesis

◆共同研究例

- 1) 極低出生体重児の長期発達予後に関する追跡研究、東京女子医科大学母子総合医療センター
- 2) LD アセスメントツールの開発、日本文化科学社

◆将来の研究計画・研究の展望

「ターミナル期にある子どもの心理・教育的対応」

小児がんや進行性筋ジストロフィーなどを患い、特にターミナル期にある子どもの心理的支援と教育カリキュラムについて、内外の情報収集のためのフィールド調査を行い、国際比較研究を行う。

「軽度発達障害の思春期の課題と心理教育的支援 - 二次障害の予防に向けて」

LD、ADHD等の軽度発達障害の子どもは理解と支援がないままに思春期を迎えることが少なくない。様々な心理的・社会的不適応、いじめなどの社会的不利益などの「二次障害」の実態を把握し、彼らのより健全な自我発達と社会

◆研究の実用化（実用化済のテーマ）

LDI-LD 判断のための調査票：LD のアセスメント手法
日本文化科学社